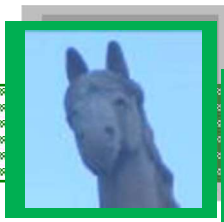

馬い話

2023年3月号
VOL. 59

戦争・地球温暖化・あらかわチャレンジ（SDGs）

ロシア・ウクライナの戦争が始まって１年が経ちましたが、未だに終息が見えず戦禍は激しくなるばかりのように見えます。この戦争は多方面に大きな影響を与えていますが、気候変動対策にもブレーキをかけています。

昨年 11 月の COP27（気候変動対策のための国際会議）では、この戦争で開始から約半年間に約 3400 万トン（主にロシアの攻撃による火災が原因）の CO2 が排出され、破壊されたインフラの復興を考慮すると **8000 万トン以上の CO2 排出量の増加**になると発表されました。これは同じ時期のオランダ１国の排出量と同等だそうです。

また、この戦争により各国への天然ガスなどエネルギー資源の供給が減少し、世界的にエネルギー不足になりました。このため、止めていた石炭火力発電所を動かしたり、アフリカで新たな天然ガス田の開発をしたり、より CO2 排出量が増えるような対策を打つことになりました。

こうした動きが世界的な CO2 削減の足かせになり、産業革命後の温度上昇を 1.5℃以内に抑えるというパリ協定の目標達成が大変難しい状況になってきました。

また、今年 2023 年にはコロナからの経済復興で、世界的にエネルギー不足がより一層深刻になるとも言われています。戦争を早期に終結させ、エネルギー不足の解消を急がないと、温暖化が進み地球全体がひどい状態になってしまうかもしれません。

こんなことを考えるとついつい重い気持ちになりがちですが、先日弊社の本社の近くにある荒川中学校の SDGs の活動の話を聞いて来ました。

2018 年に荒川中学校 3 年生の地域貢献活動から始まった活動が、あらかわ地区まちづくり協議会、村上市荒川支所、荒川商工会との連携に広がり、2020 年にはその活動が認められ新潟 SDGs アワード大賞（第１位）を受賞しています。

中学生たちが協力して大人の力も借りつつ、自分たちの思いやアイディアで社会をよりよく変えていこうとしている姿が立派で感動しました。

こういう生徒たちがやがて社会の中心となっていけば、世の中も良くなっていくのではないか・・・と少し明るい気持ちになりました。私たち「大人」ももっと広く社会に関心を持ち、力を合わせて少しでも良い社会、地球にしなければならないなと思いました。

＊【あらかわチャレンジ　SDGs】で検索してください。活動報告もあります。

株式会社長谷川電気工業所
代表取締役社長　長谷川雄一

★★　2023年　新年賀詞交換会　★★

2023年1月5日に恒例の賀詞交歓会が行われました。本年も各拠点をリモートで繋げて行われました。リモートでの集会にもすっかり慣れ各拠点でスムーズに行うことができました。

年頭あいさつでは、社長より昨年の主な出来事や現在の日本、新潟県、地域の状況についてお話をいただきました。

現在は予測不能な時代であるので、目の前のことに振り回されず基本的な方針を大切にしてほしいと、中期経営計画の「私たちが目指すもの」以下の５項目を再度確認されました。

１．　社内のチームワーク
２．　社員の健康
３．　すぐれた人間性・技術
４．　社会・お客様に貢献
５．　安定した経営

これらは実現には時間のかかるものばかりですので、ぶれることなくしっかりと意識して日々の努力を積み重ねて行くことが大切と強調されていました。

リモートで各拠点から参加した社員

長谷川社長より新年ご挨拶

★★　太陽光発電設備工事　★★

新発田市の藤塚浜工業団地で、株式会社ファーネス様の工場棟に太陽光発電設備の設置工事を行わせていただきました。今回は補助金申請の条件を満たすために、1月から3月に工事を行うことになりました。1月は1週間程度でパネル敷設と畜電池設置を行い、残りの工事を3月に行う予定にしています。

最初の2日間で墨出し作業と取り付け金具設置作業、ケーブル通線作業を進めました。順調に進んだ次の日の1月18日（日曜）に今年最初のドカ雪が降り、屋根の上では全てが、地上では荷揚げ前のパネルが雪の中に埋まってしまいました。翌日からの荷揚げ作業はあおり防止のため、クレーンからパネル専用の昇降機を用いた方法に変更し、パネルの設置を開始しました。1時間に10cm以上雪が降り続き、雪をかきながらの作業になり大変苦労しましたが、作業員を増員して対応しました。そして21日にはパネルの設置作業を、22日には電気室での蓄電池設置作業を完了しました。

一時は工事を中断せざるを得ないかと思われましたが、極寒、豪雪地域での現場経験が豊富な作業者からのアドバイスや、お客様のご理解、ご協力により、前半工事を無事故で終えることができました。3月の工事も安全作業で終え、春には発電を開始したいと思います。

雪をかき分け留め具を掘り出す

パネルの離隔部分に雪を積上げる

＜＜工事現場でも CO2 削減を！SDGs の更なる取り組み＞＞

2020 年 8 月から SDGs 活動の一環として、社内の脱炭素（CO2 排出量の削減）活動に取り組んでまいりました。前年度までは、『CO2 ゼロ電力への切り替え』、『太陽光発電設備の導入』、『社内への省エネの呼びかけ』など、主に事務所内でできる活動を重点的に進めて参りました。

今年度は更に一歩踏み込み、現場での CO2 削減活動にも着手しております。その一つとして、**AC 電源式工具を充電式のものに替え**、社内で CO2 ゼロ電力を充電することにしました。これにより、現場での発電機の化石燃料の消費を減らすことができ、**年間約 1t の CO2 削減になると**見込んでいます。

また、社内の脱炭素活動として、新たに『**石油ストーブから電気ストーブへの切り替え**』も行っております。毎年、**石油ストーブ使用により約 3t の CO2 が発生しておりましたが、この分をゼロにすることができます**。

今後も、工事現場・事務所内の CO2 排出量を削減するために、より一層努力して取り組んでいきます。

◀社内に導入した電気ストーブ（コロナ CH-1222R）。
一般的な石油ストーブに比べ、灯油分の CO2 が削減できるだけでなく、1 台につき約 1 万円/年のエネルギーコストの削減が見込まれます（弊社試算による推定）。

▲充電式に切り替えたハンマードリル（パナソニック EZ7881PC2V-R）とスタンドライト（マキタ ML809）。
コードがなく取り回しが良いため、コンセントがない場所や屋外でも気軽に使え、作業効率の向上も期待できます。

＜＜省エネ・創エネのお役立ち情報　発信中！＞＞

弊社では、皆様の省エネ・創エネ・脱炭素経営を支援すべく、ウェブサイト『**省エネ・創エネ.com**』を運営しております。本サイトでは、最新の省エネ・創エネ技術、補助金・優遇税制など支援制度について幅広い情報を分かりやすく解説しております。また、経営改善ためのコストダウン、持続可能な社会実現のための脱炭素経営に関するお役立ち情報、および弊社主催のウェブセミナーの告知情報も掲載しております。

また、弊社は東京ビッグサイトにて 3 月 15～17 日に開催されます展示会**『第 2 回 脱炭素経営 EXPO【春】（RX Japan 様主催）』**にブースを出展いたします。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

各種コンテンツはこちらから！

省エネ・創エネ.com
Produced by Hasegawa Electric Industries.
https://www.sc-energy.com/
毎月第 1, 2, 4 月曜 8 時　更新予定

YouTube
https://bit.ly/34CbNzO
随時公開中

脱炭素 EXPO 出展のお知らせ
https://bit.ly/41ga6Re
開催日程・内容は HP をチェック！

メールマガジン
https://bit.ly/3YoVNIo
毎月第 1～4 火曜 8 時　送信予定

★★　最強寒波再び　★★

2022 年 12 月の記録的な大雪に続き、年が明けた 1 月下旬に最強寒波が追い打ちをかけてきました。1 月 24 日、村上市では最高気温が氷点下という極寒の状態が 1 日中続き、恐れていた水道管の凍結事故が次々に発生しました。水が出ない、お湯が出ないというご相談が殺到し、弊社の職員及び協力業者が奔走して修繕にあたりました。

配管の凍結だけにとどまらず、浴室内のシャワーや洗面台の蛇口、洗濯機の給水ホースまでもが凍結しているケースもありました。また、通気口から床下に雪が吹き込み、配管を凍結させた事例もあり、今回の最強寒波の威力を思い知らされました。

凍結した洗濯機の給水接続口

床下に吹き込んだ雪

凍結で割れた給水管

寒波が落ち着きほっとしたのもつかの間、今度は凍結破損部の氷が解け漏水事故に発展し、修理依頼が再び殺到しました。

ご依頼頂いたお客様全てになるべく即日対応をこころがけてはおりましたが、回り切れずご不便をおかけしたお客様もおられたかと思います。大変申し訳ございませんでした。凍結事故は今後も発生することが予想されます。ご自宅の配管を今一度ご確認頂き、不安があるようでしたらお気軽にご相談頂ければと思います。

★★　新入社員紹介　★★

この度入社いたしました新しい仲間を紹介いたします。

氏　名：伊藤　雅明
入社日：１月　５日
出身地：新潟市西区
配　属：管理部

趣味：バイク（400ｃｃ）・楽器を愉しみたい
好物：ラーメン・サーティワンアイスクリーム
我が家のペット：ミニチュアダックス
抱負：心機一転がんばります。

～～　編集後記　～～

今年の 1～2 月は何度か大雪があり、雪が降っては溶けての繰り返しでした。新潟の冬は風が強く天気が目まぐるしく変わります。いつも曇り空ですが、ふと気づくと気持ちの良い晴れ間が広がっていることがあります。そんな時は少しうれしくなります。

株式会社　長谷川電気工業所
〒959-3132　新潟県村上市坂町 1760-1
☎ 0254-62-3161　　FAX：0254-62-5518
ホームページ（http://www.hei.co.jp/）